

# Power 制御！！

～FDで力のコントロールができない生徒への支援～

川西高等特別支援学校

目黒嘉一



## 本実践のねらい・目標

FD（フライングディスク）で  
丁度よい力のコントロールができる。



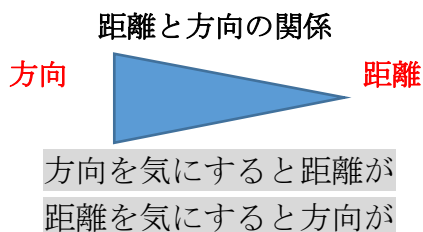
## 生徒 A の実態

FDの授業（体育）で、5m位離れた  
相手と向かい合って投げ合う場面にお  
いて、生徒Aは100%の力でビュー  
ンと何回も飛ばしていた。当然相手の  
生徒は走って取りに行っていた。



## 行動の仮説①

同時に2つの事「方向」と「距離」  
に意識を向ける事が難しいのでは？



## 実 践

距離だけに意識を集中できるように、短い距  
離から始め、段々と距離を伸ばしていく支援  
を実践。



## 行動の仮説②

応用行動分析の視点から行動の  
原因を探ってみると

- 1 要求の実現
- 2 回避と阻止
- 3 注目要求の実現

### ☆4 感覚刺激

普段の行動から、この生徒は「**感覚刺激**」  
を求めようとしているのではないか？



## 成果と課題

- ★ 上記実践より、何回か繰り返し指導す  
ることで、相手のいる所へ力の加減を  
しながら投げることができた。
- ★ 仮説②から、感覚刺激が原因だとす  
ると、刺激を充足させる手立ても必  
要なのではないか。周囲に迷惑がか  
からない状況で力一杯できる活動を  
設定できると良い？